

伊豆東部火山群

○概況（平成 18 年 3 月）

30～31 日に地震が一時的に多発し、わずかな地殻変動も観測されました。同様な活動は過去にもしばしばみられていますが、火山活動には特段の変化はなく静穏に経過しています。

○地震及び微動の発生状況（図 1、図 2）

30 日午後から、伊東市の川奈崎沖の深さ約 7～10km 付近を震源とする微小な地震がやや増加しました。31 日 2 時ころを境に地震回数は次第に減少していましたが、30 日 13 時 00 分に M3.1（深さ 8 km）の地震が発生し、東伊豆町などで震度 1 を観測しました。その後、地震回数はさらに減少しましたが、地震活動は 4 月 6 日（期間外）現在も続いています。なお、火山性微動及び低周波地震は観測されていません。

この地震活動に伴い、東伊豆町に設置している体積歪（ひずみ）計や伊東市に設置されている防災科学技術研究所の傾斜計にわずかな変化が観測されました。

同様な地震活動は過去にもしばしばみられていますが、今回の地震活動は今年 1 月 25 日～31 日に発生した地震活動の東側に位置し、いずれも規模の小さなものでした。

注）M（マグニチュード）はいずれも暫定値で、後日変更することがあります

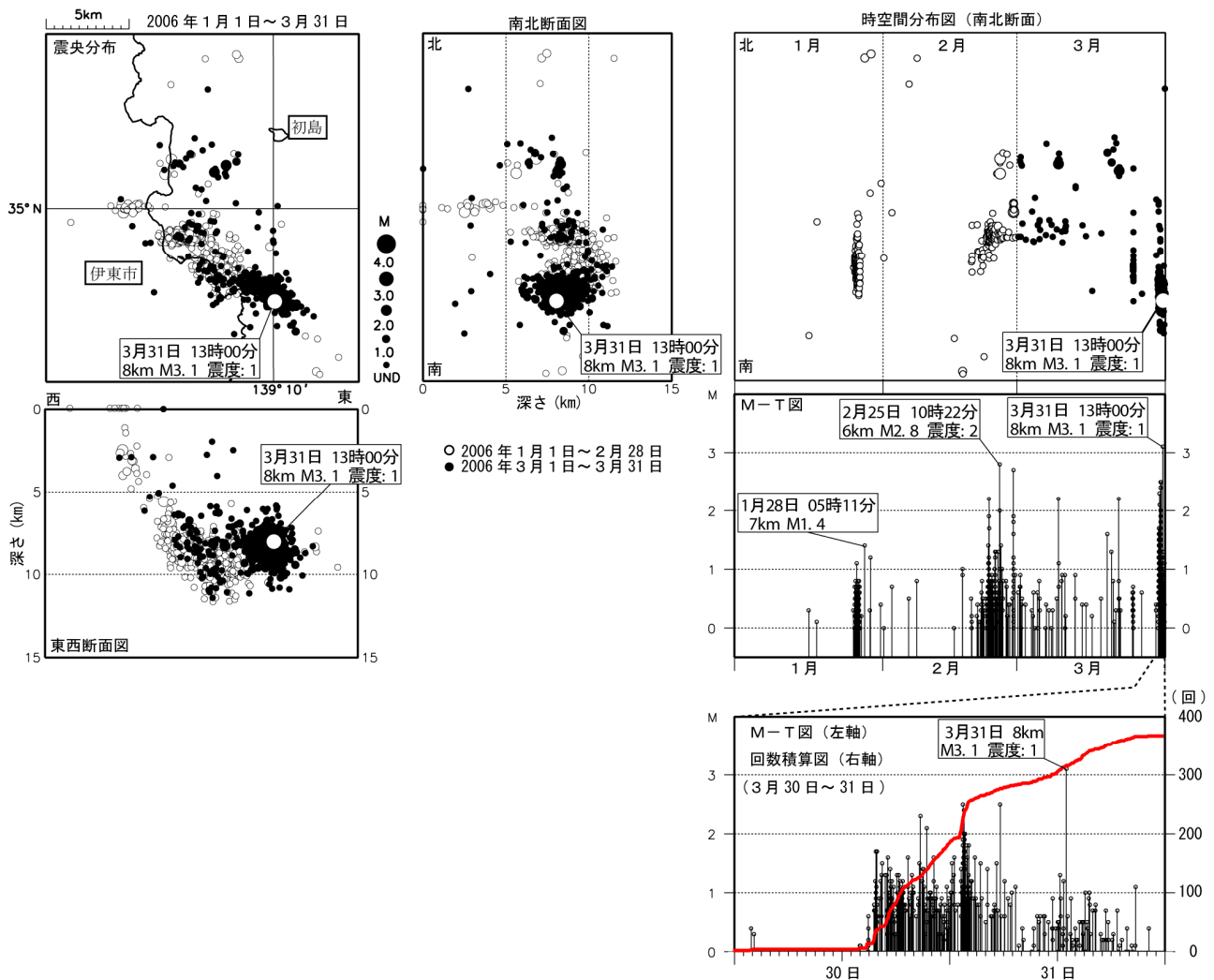


図 1※ 伊豆東部火山群 最近の地震活動（2006 年 1 月 1 日～3 月 31 日、M は暫定値）

※この資料は気象庁のほか、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等も利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』、『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

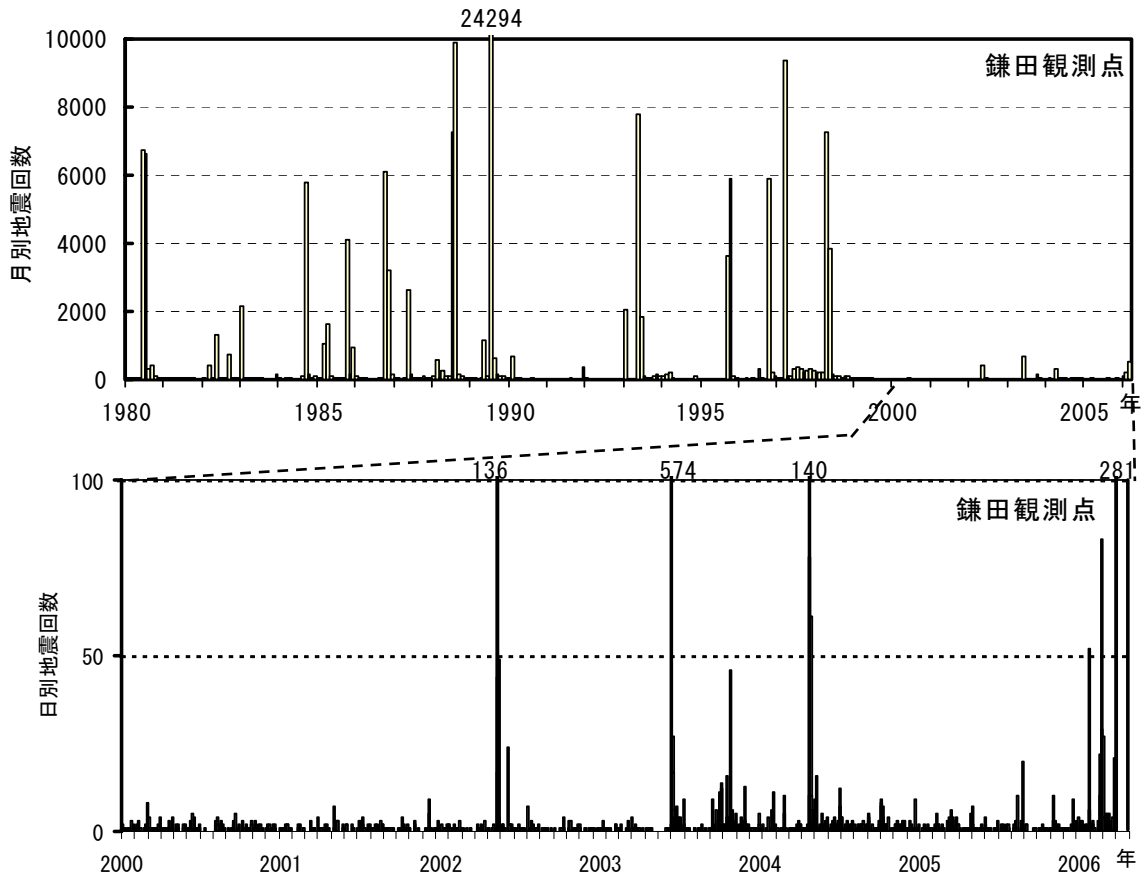


図2 鎌田地震観測点（図4）で観測した地震回数

上段：月別地震回数（1980年1月～2006年3月）

下段：日別地震回数（2000年1月～2006年3月）

地震回数は、鎌田観測点のS－P時間が6秒以下で上下動速度振幅が一定振幅以上の地震の数を表す。

○噴煙の状況

伊東市役所に設置している遠望カメラでは、噴煙は観測されませんでした。

○地殻変動の状況

G P S 連続観測では、火山活動によると考えられる変動は認められませんでした（図 3）。

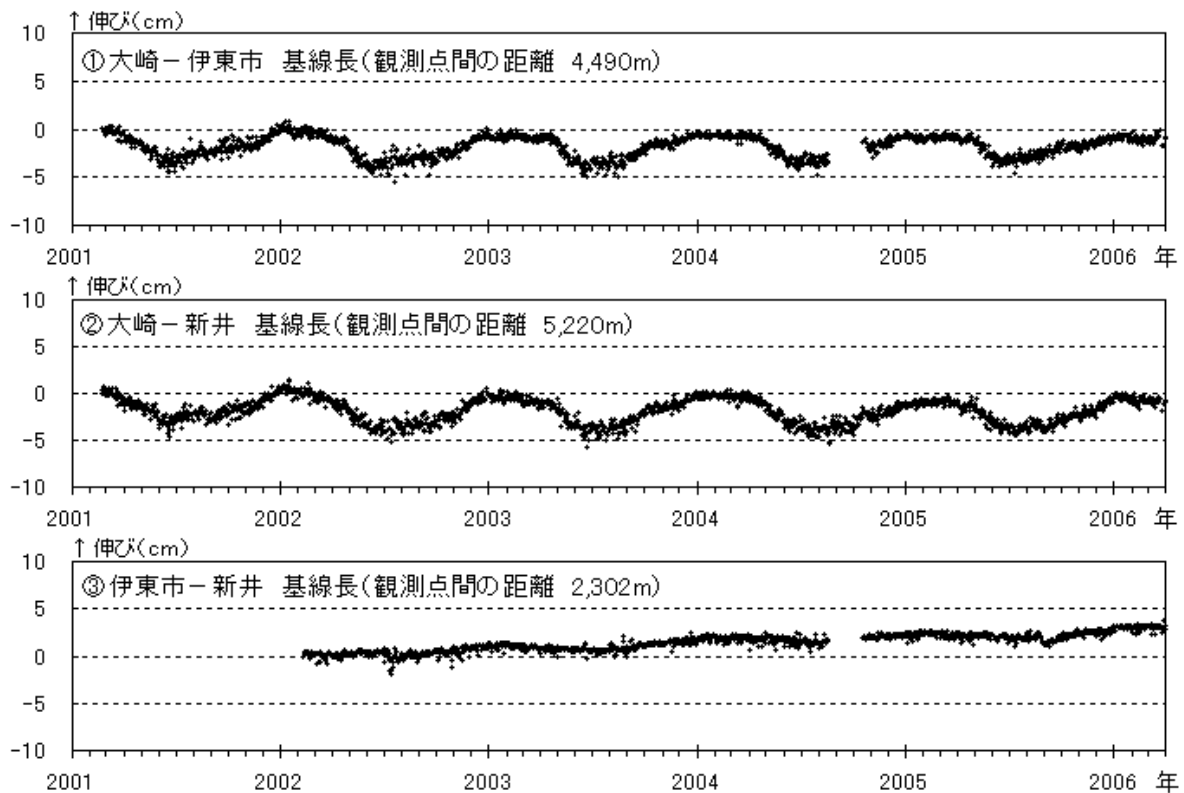


図 3 伊豆東部火山群 G P S 連続観測による基線長変化（2001 年 2 月～2006 年 3 月）
基線長変化に見られる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。
（①～③は図 4 の G P S 基線①～③に対応しています）

○観測点情報

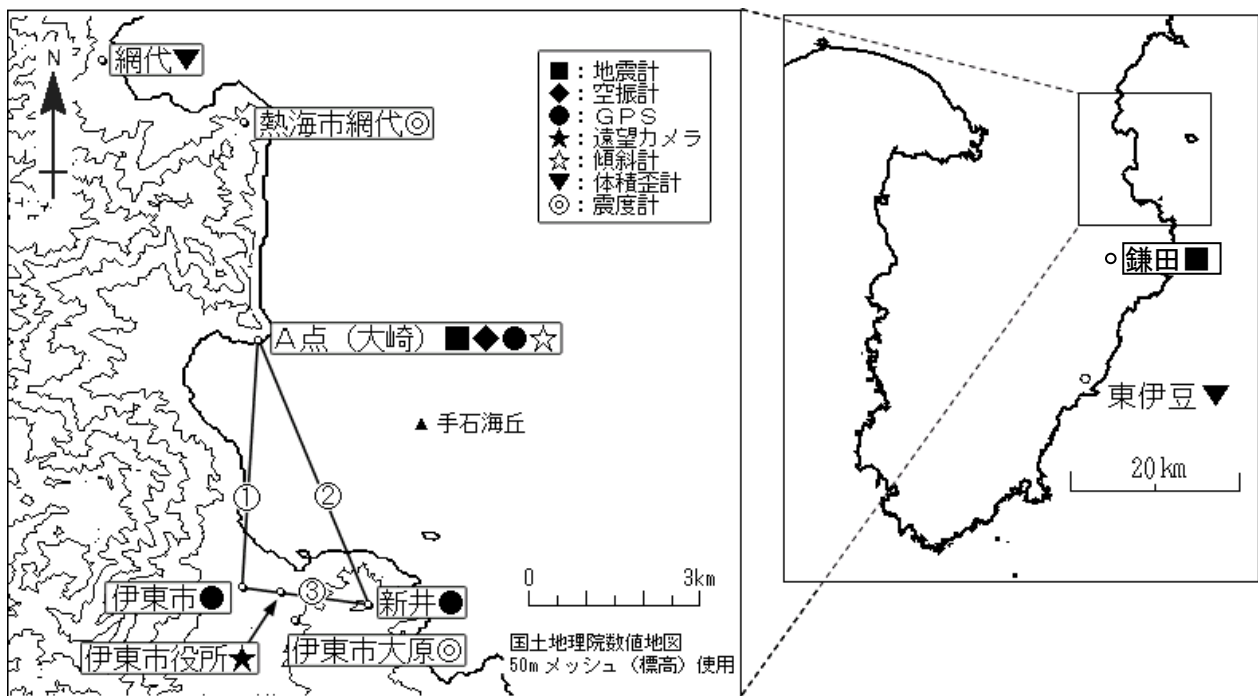


図 4 伊豆東部火山群 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）